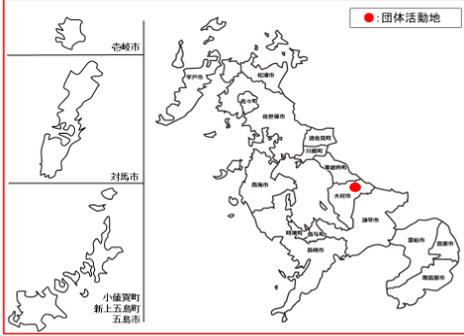


森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業

団体名	黒木溪谷森林保全の会	【地区の概要・取組等】 活動開始・・・令和2年度(1期2年目) 活動地の黒木溪谷は、多良山系西麓を流れる市内最大の河川郡側の刻む溪谷で、最深部黒木地区は古くからの木材供給地として、スギ・ヒノキの人工林が広がっています。現在、担い手を失い、人工林は放置林化しつつあり、森林の国土保持機能の低下、近年多発する土砂災害のたびに、他人ごとではないとの思いを抱いています。そのため、間伐遅れの人工林を30%程度間伐します。間伐木は条件の許す限り集材し出荷し、できない場合は切り捨て間伐をします。間伐後は、より傾斜保持機能、水保持機能の高い広葉樹や景観木を植林し、針広混交林へ誘導します。一部広葉樹天然林の分部は、寿命の長い樹種を保育し、大径木林へと誘導しつつ景観木を植栽します。
団体住所	大村市	
活動区域	大村市黒木町	
構成員数	5名	



		地域環境保全タイプ		森林資源 利用タイプ	森林機能 強化タイプ	空間利用タイプ (H25～H26) 教育研修タイプ (H27～H30) 関係人口創出・維持タイプ (R3～)	資機材購入
		里山林保全	侵入竹除去 竹林整備				
		(ha)	(ha)				
令和2年度	面積・回数・長さ	0.9ha					
	延べ人数	29人					
令和3年度	面積・回数・長さ	0.7ha					枝打ちハシゴ5.4mセット
	延べ人数	14人					
令和4年度	面積・回数・長さ	来年度 活動実施予定					
	延べ人数						